

調査名 資産形成のためのリテラシー調査, 2020

寄託者(寄託時) 株式会社大和総研

本調査票を引用するには出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

金融リテラシー調査 本調査質問票

本調査は、あなた自身に関するアンケートと、金融、年金、税制についてクイズの2つのパートからなります。

まずは、あなた自身に関するアンケートに答えていただきます。

1、あなたは金融、経済、年金、税制などの知識について、それぞれどのような媒体から知識を得ていますか。あてはまるものを全て選んでください。(MA)

- ① テレビ
- ② 新聞
- ③ 書籍・雑誌
- ④ スマートフォンやパソコンのサイト・アプリ
- ⑤ 公的機関が開催するセミナー
- ⑥ 金融機関（銀行、証券、保険など）の営業員やセミナーなど
- ⑦ 家族、親戚や友人など
- ⑧ その他
- ⑨ そうした知識に関心がない [排他]

2、あなたは、これまでに金融、経済、年金、税制などについて教育を受けた機会がありますか。教育を受けた場所としてあてはまるものを全て選んでください。(MA)

- ① 小・中学校
- ② 高校
- ③ 大学・短大・専門学校
- ④ 職場（労働組合、職業団体などを含まず）
- ⑤ 国や地方自治体
- ⑥ 金融機関
- ⑦ その他
- ⑧ いずれも受けたことがない [排他]

3、あなたは、今後、金融、経済、年金制度、税制などの知識について、教育を受ける機会が得られるとしたら、受けたいですか。(SA)

- ① 有料であっても受けたい
- ② 無料であれば受けたい
- ③ 無料であっても受けたくない・受ける必要がない
- ④ 分からない

4、あなたの過去や現在の環境や経験について、以下の内容はどの程度あてはまりますか。
 (横列ごとに SA)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえません	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
①学生時代、両親は株式や債券などの投資に積極的であった。					
②学生時代、両親からお金の話を聞くことはなかった。					
③学生時代、おこづかい帳をつける習慣があった。					
④学生時代、同年代の平均と比べて、算数(数学)は得意であった。					
⑤学生時代、同年代の平均と比べて、国語は得意であった。					
⑥学生時代、同年代の平均と比べて、経済や金融の知識を多く学んだ。					
⑦現在、家族や友人、同僚など周囲の人々は資産運用に積極的である。					

5 非公開

6、あなたは、新しい技術による金融サービス（FinTech）として以下の商品・サービスを使っていますか、また、使ってみたいと思いますか。（縦列ごとに SA）

「家計簿アプリ」とは、資産残高や毎月の収支などを自動集計してくれるサービスのこと。

「ロボ・アドバイザー」とは、簡単なアンケートに答えることで、自動で商品を推奨したり資産運用したりしてくれるサービスのこと。

	家計簿アプリ	ロボ・アドバイザー
既に使っている／使ったことがある		
使ったことはないが、使ってみたいと思う		
使ったことはなく、使ってみたいとも思わない		
分からない		

7、仕事の報酬の受け取り方として、以下の①または②のどちらがあなたにとって望ましいでしょうか。あなたが専業主婦等で収入を得ていない場合は、あなたの収入が毎月の支出と同じであると仮定して回答してください。

- ①月収が半々の確率で、現在の月収の2倍になるか、現在の月収の30%減になる仕事
- ②現在の月収が変わらない仕事

※①の仕事の年収は②と比べて平均的に1.35倍になります。ただし、25%の確率で②よりも年収が少なくなります。

8、もし、今年、2万円を一度きり支払えば、あなたが65歳になってから、生涯、毎年1万円を必ず受け取れる制度があるとします。あなたはこの制度に加入したいですか。(SA)

- ①加入したい
- ②加入したいが2万円が支払えない
- ③加入したくない
- ④分からない

9、あなたは、現在、どのような働き方をしていますか。また、60歳～80歳になったとき、どのような働き方をしていると思いますか。現時点でわからなくても、なるべく最もあてはまりそうなものを回答してください。(横列ごとに SA)

	週4日以上働く	週2～3日程度働く	週1日以下だが定期的に収入を得る仕事をする	収入を得る仕事は全くしていない	全く分からない
現在					[選択不可]
60歳時点					
65歳時点					
70歳時点					
75歳時点					
80歳時点					

(既婚者限定の質問)

10、あなたの配偶者は、現在、どのような働き方をしていますか。また、60歳～80歳になったとき、どのような働き方をしていると思いますか。現時点でわからなくても、なるべく最もあてはまりそうなものを回答してください。(横列ごとに SA)

	週4日以上働く	週2～3日程度働く	週1日以下だが定期的に収入を得る仕事をする	収入を得る仕事は全くしていない	全く分からない
現在					[選択不可]
60歳時点					
65歳時点					
70歳時点					
75歳時点					
80歳時点					

11、老後を迎えたとき、あなたの世帯に支給される公的年金の支給額はどの程度だと思えますか。正確に分からなくても、なるべくあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(SA)

- ① 現在の高齢者の平均支給額を上回ると思う
- ② 現在の高齢者の平均支給額と同程度だと思う
- ③ 最低限の生活を送るための費用が賄える程度の額だと思う
- ④ 最低限の生活を送るための費用も賄えない程度の額だと思う
- ⑤ まったく支給されないと思う
- ⑥ その他
- ⑦ 全く分からない

12、公的年金はもらい始める年齢を選ぶことができます。あなたは60～75歳のうち、何歳から公的年金をもらい始めたいですか。早くもらい始めると月々の金額が減り、遅くもらい始めると月々の金額は増えますが、平均的には生涯でもらえる総額は変わらないものとしてします。

13、あなたの世帯では、公的年金の他に、65歳以後の生活資金としていくらかの金融資産を準備しておく必要があると思いますか。

金融資産には、株式、投資信託、保険、確定拠出年金の残高を含み、受け取る見込みの退職金も含むものとします。

正確に分からなくても、なるべく最も近いと思うものを1つ選んでください。

(SA)

①100万円以下だと思う
②100万円～200万円程度だと思う
③200万円～500万円程度だと思う
④500万円～1,000万円程度だと思う
⑤1,000万円～2,000万円程度だと思う
⑥2,000万円～3,000万円程度だと思う
⑦3,000万円～4,000万円程度だと思う
⑧4,000万円～5,000万円程度だと思う
⑨5,000万円以上だと思う
⑩全く分からない

14、あなたの世帯では、現在のペースで貯蓄や資産形成を行った場合、65歳の時点で、いくらかの金融資産を保有しているだろうと思いますか。

金融資産には、株式、投資信託、保険、確定拠出年金の残高を含み、受け取る見込みの退職金も含むものとします。

正確に分からなくても、なるべく最も近いと思うものを1つ選んでください。

①100万円以下だと思う
②100万円～200万円程度だと思う
③200万円～500万円程度だと思う
④500万円～1,000万円程度だと思う
⑤1,000万円～2,000万円程度だと思う
⑥2,000万円～3,000万円程度だと思う
⑦3,000万円～4,000万円程度だと思う
⑧4,000万円～5,000万円程度だと思う
⑨5,000万円以上だと思う
⑩全く分からない

(13の回答が①～⑨かつ、13の回答番号>14の回答番号の番号である場合)

15、現在の貯蓄ペースでは65歳以後の生活資金が不足すると考えている方に伺います。あなたの世帯は、不足が見込まれる生活資金をどのように手当とする予定でしょうか。あてはまるものを全て選んでください。(MA)

- ① 現役時代に就労による収入を増やす
- ② 現役時代に節約し支出を減らす
- ③ 資産運用により収入を増やす
- ④ 65歳以後も就労し収入を得る
- ⑤ 65歳以後に節約し支出を減らす
- ⑥ 子などから仕送りを受ける
- ⑦ 親などから相続・生前贈与を受ける
- ⑧ 自宅などの不動産を売却する
- ⑨ リバースモーゲージを利用する（自宅などを担保に融資を受ける）
- ⑩ その他
- ⑪ 分からない【他の選択肢と同時選択不可】

以上で、あなた自身に関するアンケートは終わりです。

これからは、金融、年金、税制に関する15問のクイズに答えていただきます。

書籍や他のウェブサイトなどで答えを調べずに、自分の今の知識で正直に教えてください。

※正解は回答者には表示しない。正解数につきあらかじめコードを振って集計できるか。

問1、100万円を年率2%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金がなかった場合、5年後には口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないでご回答ください。

- ① 110万円より多い [正解-金融]
- ② ちょうど110万円
- ③ 110万円より少ない
- ④ 上記の条件だけでは答えられない
- ⑤ 分からない

問2、インフレ率が2%で、普通預金口座であなたが受け取る利息が1%なら、1年後にこの口座のお金を使ってどれくらいの物を購入することができると思いますか。

- ① 今日以上に物が買える
- ② 今日と全く同じだけ物が買える
- ③ 今日以下しか物が買えない [正解-金融]
- ④ 分からない

問3、金利が上がったら、通常、債券価格はどうなるでしょうか。

- ① 上がる
- ② 下がる [正解-金融]
- ③ 変化しない
- ④ 債券価格と金利の間には何の関係もない
- ⑤ 分からない

問4、国民年金や厚生年金の保険料を徴収し、年金の給付を行っているのは次のうち、どれでしょうか。

- ①銀行 ②生命保険会社 ③政府[正解-年金] ④証券取引所 ⑤分からない

問5、現在、会社員などが加入している厚生年金で従業員が負担する保険料（会社負担分を含まない）について、次のうち最も適当なものを選んでください。

- ①所得によらず月約2万円
- ②所得によらず月約4万円
- ③月給やボーナスに対し約10% [正解-年金]
- ④月給やボーナスに対し約20%
- ⑤分からない

問6、今年度の高齢者に支払われている公的年金の財源のうち、最も多くを占めるのは次のうちどれでしょうか。

- ①現役世代が今年度に支払った保険料 [正解-年金]
- ②消費税などの税金
- ③現在の高齢者が過去に支払った保険料の積立金およびその運用益
- ④分からない

問7、あなたの所得税の税率が合計20%だとします。あなたが、所得税について10万円の所得控除を受けられる場合、所得控除がない場合と比べてあなたが支払う所得税はいくら減りますか？

- ①2万円減る [正解-税制]
- ②4万円減る
- ③8万円減る
- ④10万円減る
- ⑤分からない

問8、少額投資非課税制度（NISA）についてあてはまるのは、次のうちどれですか。

- ①口座内で保有している株式について、相続税が非課税となる
- ②株式購入時の手数料にいて、消費税が非課税となる
- ③運用によって得た利益について、所得税が非課税となる [正解-税制]
- ④運用によって損失が生じた場合、国が損失を補ってくれる
- ⑤分からない、またはNISAを知らない

問9、個人型確定拠出年金（iDeCo）についてあてはまるのは、次のうちどれですか。

- ①掛金を支払った年に所得税の軽減が受けられる [正解-税制]
- ②iDeCoから受け取る年金または一時金は、全額非課税になる
- ③iDeCoに加入した時点で、将来受け取れる年金または一時金の金額が保証される
- ④分からない、またはiDeCoを知らない

問 10、次の文章が正しいか間違っているかを、それぞれご回答ください。

(横 1 列につき、SA)

		正しい	間違っている	分からない
1	住宅ローンを組む場合、返済期間が 15 年の場合と 30 年の場合を比較すると、通常、15 年の方が月々の支払い額は多くなるが、支払う金利の総額は少なくなる。	[正解 - 金融]		
2	1 社の株式を買うことは、通常、株式投資信託 (※) を買うよりも安全な投資である。 ※ 何社かの株式に投資する金融商品		[正解-金融]	
3	現在、国民年金に加入し保険料を支払う義務がある年齢は 18 歳以上である。		[正解-年金]	
4	高齢になって公的年金が支給開始されたら、何歳になっても支給は打ち切られず、終身で年金を受け取ることができる。	[正解 - 年金]		
5	現在、預貯金の利子や株式の配当金にかかる所得税・住民税の税率は、約 10% である。		[正解-税制]	
6	現在、食料品 (外食・酒を除く) に対しては消費税の軽減税率 (税率 8%) が適用される。	[正解 - 税制]		

以上で、金融、年金、税制についてクイズは終了です。
最後に、あなた自身のクイズの正解数について予想していただきます。

本調査で出題した 15 問のクイズにつき、あなたは何問正解したと思いますか（問 10 の 6 つの二択問題は、それぞれ 1 問と数えます）。

（0 問～15 問のいずれかをプルダウンで選択）

_____問